

タウンとびっくす

T o w n t o p i c s



▲手際よくつつじの刈り込みを行うシルバー会員

『剪定ボランティア活動を実施』 シルバー人材センター会員 20 人が参加

6月20日(火)、大崎町シルバー人材センターの会員20人が、役場庁舎周囲のつつじの刈込作業を行いました。参加した20人の会員は、剪定を専門に行っている方々で、生い茂っていたつつじもまたたく間にきれいになりました。

同センターの宮本則男さんは「シルバー事業は、みなさまに親しまれるセンターを目指しており、毎年それぞれの職群班で様々なボランティア作業に汗を流しています。今後もこのような奉仕活動に取り組んでいきたい。」と話されました。

『台風時期を前に照明器具を点検』 大崎電友会がボランティアで実施

6月24日(土)、大崎電友会(会長・鳥越伸一さん、(株)鳥越電設)が、台風時期を前に中央通りに設置されている街路灯の器具点検などをボランティアで行いました。

この日はあいにくの雨となりましたが、参加した会員ら18人は、3班に分かれて作業を行い、高所作業車で約80基の街路灯のボルトに緩みがないかなどを手際よく点検し、約2時間半で作業を終えました。

大崎電友会のみなさん、ありがとうございました。



▲高所作業車で街路灯の点検作業を行う電友会のみなさん

『早く大きくなってね!』 大崎小学生がマダイの稚魚を放流

7月13日(木)、大崎小学校5年生の児童68人が、マダイの稚魚約2万匹を東串良漁協近くの海岸から放流しました。

これは、『つくり・育てる』漁業の推進を目的に、町と東串良漁協が毎年行っているもので、参加した子ども達は、体長6センチメートルほどのマダイの稚魚に「大きくなって帰ってきてね!」などと声をかけながら放流していました。



▲マダイの稚魚を放流する大崎小学校5年生の児童

『野方・立小野校区 あんぜんパトロール隊が発足』

7月18日(火)、野方小学校体育館において、あんぜんパトロール隊の発足式が行われました。

最近、子どもが被害者となる事件・事故が多発していることや、小中学校が夏休みに入ることなどから、管内3学校のPTAの方や地域安全モニターの方など約20人がパトロール隊の発足を宣誓し、子ども達に防犯指導を行いました。最後にパトカーや白バイの展示があったあと、防犯ステッカーを貼った車で街中パトロールを行いました。



▲志布志警察署員による防犯指導のようす